

2016年4月26日

1. 基本情報

- (1) 国名：南スーダン共和国
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名：ジュバ市／南スーダン全土（人口約 1,031 万人（2013 年））
- (3) 案件名：TV ラジオ放送センター改善計画
(The Project for Improvement of TV and Radio Broadcasting Centre)
- (4) 事業の要約：本事業は、国営南スーダンテレビ・ラジオにおいて、スタジオ施設等を備えた放送センターの建設及び放送機材の供与を行うことにより、適切な放送時間の確保と取材・番組制作機能の強化を図り、もって南スーダン共和国のガバナンス及び治安能力向上に寄与することを目的とする。

2. 事業の背景と必要性

- (1) 当該国におけるメディアセクターの開発の現状・課題及び本事業の位置付け
2011 年に独立した南スーダン共和国では、独立以前からの長期間の紛争による影響で、情報インフラを含む社会基盤が未整備な中、国民生活に必要な情報を国内各地に提供するために TV・ラジオ等のメディアが果たす役割は重要である。南スーダン共和国政府は、「South Sudan Development Plan 2011-2016」において、TV・ラジオの質の向上を通じた公共情報へのアクセス向上を重点プログラムの一つに掲げている。特に、2013 年 12 月に発生した内戦に対する和解合意が 2015 年 8 月に締結されて以降、和平プロセスの着実な実施が期待される中、紛争再発予防の上でも、メディアの果たす役割は益々重要性を増している。

南スーダン共和国では、独立時に国際機関や NGO 等の支援を受け、新聞 14 紙、雑誌 3 誌が創刊されたほか、ラジオ局はコミュニティ FM を中心に 36 局が設立され、テレビ局は国営南スーダンテレビ・ラジオ（South Sudan TV and Radio、以下「SSTVR」という。）と、中央エクアトリア州所有の放送局（Equator Broadcasting Corporation）が存在する。このうち、SSTVR は国内最大のカバーエリア（テレビはジュバを中心に半径約 40km、ラジオ（FM）はジュバを中心に約 65km（SSTVR より聴取、以下同））を有し、国民に対して更に幅広く情報を提供することが期待されている。しかしながら、同局は老朽化した最低限の施設・機材しか有しておらず、一日の放送時間はテレビ 15 時間、ラジオ 18 時間に留まっている（2015 年）。また、施設・機材の不足から、テレビ・ラジオともに放送が中断する、定時放送が行われぬ等の放送事故が頻発している状況にある。本事業は、SSTVR の放送機能強化、ひいては南スーダン共和国の民主的な国造り及びガバナンスの改善に寄与することを目的とし、放送施設の建設及び放送機材の整備を行うものである。

- (2) メディアセクターに対する我が国の協力方針等と本事業の位置付け

本事業は、南スーダン共和国事業展開計画の援助重点分野「ガバナンス及び治安能力向上支援」における「行政能力強化プログラム」に位置付けられる。また、TICAD V 横浜行動計画において、安全な社会及び社会経済開発の土台として重要性を認識す

べきと指摘されている、民主主義及びグッドガバナンスの推進に貢献するものである。

(3) 他の援助機関の対応

国際連合教育科学文化機関(UNESCO)や北欧諸国が中心となり、現地ジャーナリストに対する研修等の協力を行っている。また、国連南スーダン共和国ミッション(UNMISS)は、南スーダン共和国全土に向けて、ラジオ放送を行っている。

(4) 本事業を実施する意義

本事業は、南スーダン共和国の課題・開発政策、また我が国の援助方針に合致し、2015年8月の和解合意締結を踏まえ、和平プロセスが進められる現在、国民に対し正確・公平・中立な情報を提供することは喫緊の課題となっているため、無償資金協力として本事業の実施を支援する必要性は高い。

3. 事業概要

(1) 事業概要

① 事業の目的：本事業は、SSTVRにおいて、スタジオ施設等を備えた放送センターの建設及び放送機材の供与を行うことにより、適切な放送時間の確保と取材・番組制作機能の強化を図り、もって南スーダン共和国のガバナンス及び治安能力向上に寄与することを目的とする。

② 事業内容

ア) 施設・機材等の内容

【施設】放送センター(スタジオ、コントロールルーム、編集室等を含む)

【機材】照明機器、テレビカメラ、スイッチャー、編集機材、空調システム等

イ) コンサルティング・サービス/ソフトコンポーネントの内容

協力準備調査にて確認。

ウ) 調達・施工方法：協力準備調査にて確認。

③ 他のJICA事業との関係：実施中の技術協力「南スーダンTV・ラジオ組織能力強化プロジェクト」(2012年～2018年)では、SSTVR及び情報・放送省職員の能力強化を通じて、正確・公平・中立な情報が国民に届けられることを目指している。当該プロジェクトを通じて育成された人材が、本事業で整備される施設・機材を活用することが見込まれ、相乗効果が期待できる。

(2) 事業実施体制

① 事業実施機関/実施体制

監督官庁：情報・放送省(Ministry of Information and Broadcasting)

実施機関：国営南スーダンテレビ・ラジオ(South Sudan TV and Radio)

② 他機関との連携・役割分担：放送内容の質的向上について、UNESCO等との連携の可能性を探る。

③ 運営/維持管理体制：SSTVRが運営・維持管理を担う。「南スーダンTV・ラジオ組織能力強化プロジェクト」中間レビュー(2015年10月)において、プロジェクトの実施によりSSTVRの放送機材運用・維持管理にかかる要員計画の具体化や要員の配置、機材管理規定の運用が開始され、SSTVRの施設運用/維持管理体制は整いつつある状況が確認されている。財政面は、現状、中央政府からの補助金と広告収入によって支えられているが、詳細は協力準備調査で確認する。

(3) 環境社会配慮

①カテゴリ分類 A B C FI

②カテゴリ分類の根拠：本事業は「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」（2010年4月公布）上、環境への望ましくない影響は最小限であると判断されるため。

(4) 横断的事項：本事業は、国内紛争の影響を受け得る地域が対象となるため、紛争予防の観点から、事業を実施する際の留意点をまとめ、必要に応じて対策を検討する。また、資機材輸送等の安全対策についても、協力準備調査で確認する。

(5) ジェンダー分類：ジェンダー活動統合案件

(6) その他特記事項：なし

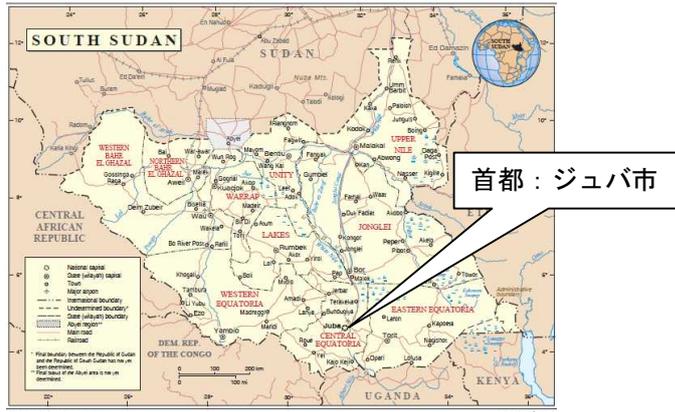
4. 過去の類似案件の教訓と本事業への適用

ジブチ共和国「ラジオ・テレビ放送局番組作成機材整備計画」（2009）の事後評価等では、機材供与先の財政状況の悪化や技術レベルの不足によって、機材の修理が十分にできていなかったことから、類似案件の形成においては、メーカーとの定期保守契約や、日常の機材保守整備を事業計画に組み入れるべきとの指摘がなされた。本事業も放送機材の供与を含む案件であることから、継続的な機材の活用及び開発効果持続の観点から、協力準備調査の段階で、機材の保守整備計画の作成やメーカーとの定期保守契約の活用可能性について検討する。

以上

[別添資料] 地図

別添：地図



ジュバ市中心部及び周辺図（SSTVR 及び放送センター所在地）

